進路指導部だより
道しるべ
天王みどり学園 進路指導部
第１７８号【小学部版】
令和５年１２月２５日発行

進む路を充実させるためにできること

小学部　　岡部　りか子

学校卒業後、心豊かに自分らしく生きていく力の「根っこ」を小学部で育むことを目指しています。元気に登校し、自分のことはできるだけ自分で取り組む、そして友達と一緒に楽しく学び最後まで活動をやり遂げる、好きなこと・ものを増やす、集団のルールや社会生活のマナーを知って落ち着いて過ごすなどをご家庭の協力を得ながら指導を積み重ねています。

小学部生活は６年あるとは言え、あっという間です。お子さんたちのこの先の進む路(みち)を充実させるために、今年度お子さんや保護者の方々で取り組んだことをご紹介します。

「可愛い子には旅（挑戦）をさせよ」

学校生活で頑張っていることを校外で力試し！
発車時刻を意識して移動し、電車でＧＯ！！
初めての経験にドキドキしながら…事前学習を思い出して切符を買ったり、約束を守り車内でも静かに過ごしたりと、学習した成果を実体験の中で発揮できました。
お子さんたちも「自分で切符を買えた！」「(自動改札で）自分で切符を取った！」と喜び、自信をつけていました。これからも、担任に見守られながらの挑戦は続きます。

「百聞は一見にしかず」

１１月のＰＴＡでは、就労継続支援Ｂ型「にじいろのカルテ」、グループホーム「希」を見学しました。実際に働いている方々の様子を見たり、事業所の方のお話を伺ったりでき「生」の情報が得られました。参加された保護者の方からも「大変有意義だった」という声が寄せられました。
お子さんが**中学部**になると、１年生から「職場**見学**」、３年生では「職場**体験**」をします。先のこととは言えお子さんが小学部のうちに様々な事業所をご覧になると、保護者の皆さんも心に余裕をもって高等部卒業後のイメージをもてます。新たな発見もできます。参加されたことのない方はぜひ来年度、行ってみましょう！！

作業学習体験

１０月に、小学部４～６年生が、中学部の作業学習の体験をしました。中学部には、木、土、紙、風の４つの工房があることを知り、４つのグループに分かれて活動しました。緊張しながらも、先輩の作業の様子を見たり、丁寧に教えてもらったりしながら真剣に作業に取り組みました。「失礼します」などの挨拶や「できました」「お願いします」などの報告、整った身だしなみ、準備や片付けなど、作業に伴う学習もたくさん経験できました。

木の工房

「木製マグネット」への穴開けや、やすりがけをしました。

土の工房

たたら板で粘土を伸ばしたり、枠で形を取ったりしました。「小皿」になります。

紙の工房

「カラフルベンチ」の中に入れる牛乳パックに、丸めた新聞紙を入れました。

風の工房

牛乳パックのラミネートはがしや、紙を細かくするミキサー掛けをしました。「油吸い取りパック」になります。

体験した後は、「ありがとう」の気持ちを込めて、お礼状を作りました。写真を見て、そのときの活動を振り返り、感謝や感想の言葉をお礼状に表しました。後日、担当の先生に直接渡してお礼を伝えました。

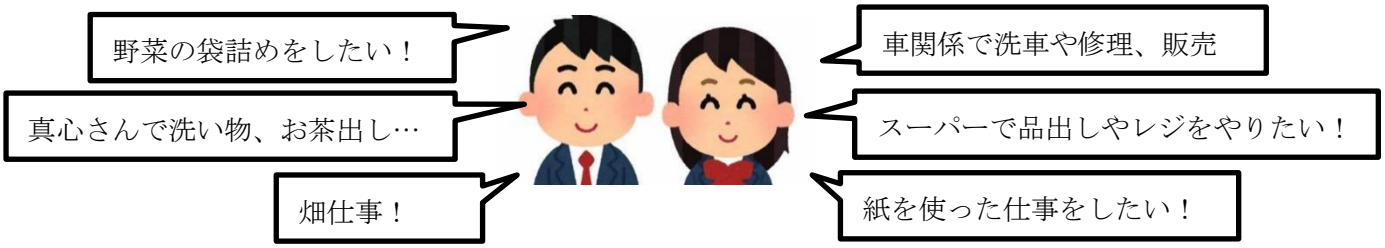
進路指導部だより
道しるべ
天王みどり学園 進路指導部
第１７８号【中学部版】
令和５年１２月２５日発行

将来の夢や憧れをもち、それに向かって様々なことに挑戦し経験を広げよう！

中学部　　島津　真奈美

昨年度に引き続き、中学部で大事にしていることの一つ、上記テーマでのお話です。
中学部では、
◎自分のことを知る
（好きなことや得意なこと、頑張っていること、苦手なことへの向き合い方など）。
◎自分のことを考える（将来の夢や願い、今頑張ること、目標など）。
◎自分の思いや願いを発信する。　機会の一つとして、生徒個別面談を行っています。

今年度、中学部３年生の面談で、高等部卒業後の夢（希望する進路）とともに、職場体験実習でやってみたい仕事について話題にすると、生徒たちはこんな思いを口にしました。（一部抜粋）



生徒たちの思いには、普段から興味・関心のあること、学習や生活の中で見聞きしたこと、経験したことが直結しているようでした。逆に言えば、経験のないことを想像することは難しいということにもなります。

中学部では、将来の「働く」「暮らす」「楽しむ」豊かな社会生活を目指して、様々な体験的な学習を実施しています。主として「働く」ことを中心とした作業学習（校内実習）や高等部見学・体験、職場見学・体験実習はもちろんのこと、「暮らす」「楽しむ」ことにつながる学習も大事にしています。

冬休み前に、１年生は余暇について考える学習を、２年生はおからを使ったスイーツづくりに挑戦しました。調理活動では、うまくいったことも失敗したことも次に生かしながら繰り返し取り組みました。興味・関心のあること、ちょっぴり難しいことにも１回きりではなく繰り返し挑戦し、将来の進路選択や豊かな社会生活に生かせる材料をたくさん蓄えてほしいと考えています。

冬休みは、家庭生活での経験を蓄えられる貴重な時間です。家族の一員としてできることに参加する、自分でできることは自分でする、余暇の過ごし方を工夫するなど、学校での学習も生かしながらたくさんの経験を重ねていきましょう！

＜後期校内実習＞

１１月６日（月）から１７日（金）までの２週間、後期校内実習を行いました。今回は「作業学習内容の定着と改善を図る」「働くために大切な挨拶や返事、報告、相談、身だしなみなど、基本的な決まりやマナーを意識し、実践する力を高める」「働く楽しさと達成感を味わえるように、仲間と共に最後までやり遂げる力を育てる」ことを目的として１０日間、作業学習に取り組みました。これまでの作業学習で積み上げてきた学習経験を基に、生徒たちが個々の目標達成に向かって頑張る姿が多く見られ、成長を感じられた校内実習でした。

実習の様子

木の工房

土の工房

風の工房

紙の工房

＜中3現場体験実習＞

１２月８日（金）から２１日（木）までの期間に３年生の現場体験実習が行われました。今年は「ナイス追分店」「ダイハツ土崎店」「にじいろのカルテ」「ひまわりの里」「デイサービス真心」の協力を得て行うことができました。初めての現場での体験学習ということでかなり緊張している様子が見られましたが、それぞれの現場で温かく迎えていただき、安心して仕事に取り組むことができました。将来の就労に向けて、これからもこのような体験学習を積み重ねていきたいと思います。協力していただいた企業、事業所に改めて感謝します。

進路指導部だより
道しるべ
天王みどり学園 進路指導部
第１７８号【高等部版】
令和５年１２月２５日発行

「 日 々 是 進 路 」

高等部主事　神田　純一

特別支援学校における進路指導というと、現場実習のことや進路学習、進路相談などが思い浮かぶと思います。しかし、それらだけが進路指導というわけではありません。朝「おはようございます」とあいさつすること、歯磨きをして顔を洗うこと、朝ご飯をしっかり食べること、電車やバスに乗って通学すること、学級での係活動、目標を決めて取り組む日々の学習、学習の振り返りなどなど日常の家庭生活の中でのこと、学校生活での日々の取組のすべてが社会人として生きていく上で必要な力であり、進路指導に係る内容なのです。これらはどれも高等部３年生の進路選択・進路決定する時になって、どうにかしようと急に頑張っても身に付けたり、変えたりすることはできません。「日々是進路」日々の生活の中でのすべてのことの積み重ねが進路指導であり、現在および将来の豊かな生活につながる大切なことなのです。

『あたりまえのことをあたりまえに』・・・

「おはようございます」「さようなら」など日常的なあいさつ、「ありがとう」という感謝の言葉、「ごめんなさい」間違った時の謝罪等、周りの人と仲良く、楽しく過ごすための基本となる大切なことです。このあたりまえのことが、場所や環境が変わると難しいことがあります。普段から忘れずにあいさつをしたり、マナーを守ったりしている人は、いつでもどこでもできるはずです。家庭でも、日常的なあいさつを習慣化することを大事にしてください。

『自分の強み（ストロング ポイント）を増やす』・・・

ここは、人には負けない！誰よりも元気にあいさつができる。体力には自信がある。真面目に作業ができる。みんなと仲良くできるなどです。必ず一人一人に強み（ストロング ポイント）があります。実習で得た課題に向き合いながら、「自分の強み」を増やしていってほしいと思います。強みをたくさんもっている人は、自分に自信をもてるようになります。自信は新しいことへのチャレンジの意欲や原動力になります。ぜひ保護者の皆さんも子どものよいところを、しっかり伝えてあげてください。

『なりたい自分を描く』・・・

高等部卒業後、自分はどんな大人になり、どんな仕事をしたいのか。どんな生活をしたいのか。具体的に将来の姿を描いてください。進路も、生活もなんとかなると思っていると、進路は決まりません。なりたい自分に近づくために今からできることがあります。「自分はこうなりたい」、「我が子にはこんな生活をしてほしい」と思い描いていると、日々の生活や考え方が変わるきっかけになります。「思い」や「ねがい」を現実に近づけるために日々の積み重ねを大切にしましょう。

『いつも本気で』・・・

普段から本気を出していないと、ここぞというときに、本気を出すことができません。日々の生活や態度、学習が卒業時の進路や生活に繋がっていることを再確認し新年を迎えたいものです。４月からこれまでのご理解とご協力ありがとうございました。明るく楽しい新年を迎えられますように・・・新年も引き続きよろしくお願いします。

高等部１・２年生　後期現場実習

高等部１年生は、１１月６日（月）から１７日（金）までの１０日間、後期現場実習を行いました。初めての現場実習ということもあり、緊張や戸惑いも見られましたが、学校とは違う環境で過ごすことや仕事に向かう姿勢や態度について実体験を通して学ぶことができました。また、公共交通機関を利用して通勤した生徒もおり、様々な経験を積んだ１０日間になりました。

高等部２年生は、１１月１３日（月）から２４日（金）までの９日間、後期現場実習を行いました。６月に行った現場実習を振り返り、成果と課題を個々に把握し「自分を知る」「前期実習の課題をクリアする」「新しいことに挑戦する」など、一人一人目標をもって臨み、自分自身の卒業後の進路先を考える上で貴重な実習となりました。なお、実習先の都合で一部、校内で実習を行った生徒もおりました。

秋田県特別支援学校就労促進フェア（県央地区）

１２月８日（水）に由利本荘市文化交流館カダーレを会場に、昨年度までの職業教育フェアが名前を変え、就労促進フェアとして開催されました。今年度は、技能競技大会「錬成会」の実施と各校の実践発表、作業学習製品販売を行いました。実践発表では本校の小・中・高の取組について紹介したり、高等部１年生の生徒が作業学習について発表したりしました。また、高等部１年生の生徒が本校高等部の作業学習製品販売を行いました。

「錬成会」では「ビルクリーニング競技」と「喫茶サービス競技」、新たに「ワード・プロセッサ競技」が行われ、本校からは３名の代表生徒が出場しました。選手たちはとても緊張しながらも、最後まで一生懸命競技に集中し、練習の成果を発揮できました。

○ビルクリーニング

○喫茶サービス

○ワード・プロセッサ

○作業学習製品販売

○実践発表